

# 港湾振興便り



2018. 9

第136号

\*:

## 目 次

\*:

1 ポートエッセイ — 地域課題解決に新しい波 ITを活用し、産学官民協働で —  
～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～

## 2 トピック

- 第11回Sea級グルメ全国大会inもんべつが開催されました。  
(北海道開発局港湾計画課)
  
- 外国船籍クルーズ船「コスタ ネオロマンチカ」が酒田港に寄港しました。  
(酒田市地域創生部商工港湾課)
  
- いしのまき港 探検ツアーを開催しました！  
(石巻市建設部河川港湾室)
  
- 「サマー！エコ・キッズ・スクール」を開催しました！  
(四国地方整備局松山港湾・空港整備事務所)
  
- 「松山みなと見学会」を開催しました」  
(四国地方整備局松山港湾・空港整備事務所)
  
- クルーズ船『にっぽん丸』『ぱしふいっくびいなす』が下関港に同時寄港！！  
(九州地方整備局 下関港湾事務所)
  
- MSCスプレنديダが平良港・那覇港へ初寄港しました。  
(内閣府沖縄総合事務局 )

## 3 お知らせ

- ◇イベント名:～酒と肴と鼠ヶ関～ 関ふぐまつり
  
- ◇イベント名:第17回港湾感謝祭(石巻港)
  
- ◇イベント名:鼠ヶ関港 とれたて！お魚市 カニまつり
  
- ◇イベント名:みんなの生活展2018(松山市)

\*:

## 1 ポートエッセイ

— 地域課題解決に新しい波 ITを活用し、産学官民協働で —

～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～

\*:

ITなど新テクノロジーを活用して地域や行政が抱える課題を解決し、新たな産業の創出にもつなげようという新しい動きが出ている。新しい波を起こそうという運動を関係者は「シビックテック」と名付け、日本でも次第に広がりを見せている。運動を先導してきた「コード・フォー・ジャパン サミット」が今月下旬に新潟市で開催される。この機会に「シビックテック」の取り組みを紹介する。

(依存から共創関係へ)

これまで、市民は公共サービスを提供する行政に対し要望や苦情をぶつけながらも、基本的に行政に依存したり、任せたりする状況にとどまることが多かった。シビックテックはITなどのテクノロジーを駆使したり、さまざまなビッグデータや地域データを活用したりして、行政と共に地域の課題解決に取り組むことを目指している。主体者は市民や大学、企業、NPOなどがテーマによって行政とチームをつくる「共創」の関係を目指している。日本でも既に80地域近くで活動が始まっている。

活動の出発基盤はワークショップで、共に考える場づくりとしては行政・企業・NPO関係者や学生など、多様な方々が集まりアイデアを出し合う「アイデアソン」やオープンデータカフェなどがあり、共に創る場づくりとしてはアイデアソンを発展させた「ハッカソン」などがある。運動を牽引する一般社団法人コード・フォー・ジャパンでは、IT活用に積極的な自治体に民間人材を送り込んだり、国の委託を受けて自治体職員向けのデータ利活用研修を実施したりしている。

今回、新潟市で開催されるサミットは、シビックテック活動を広めるために、各地での先行事例や学びを共有し、次へのアクションを考えるための場に位置づけられ、昨年の神戸に続き日本では5回目となる。

(シビックテックが身近に)

シビックテックはまだ耳慣れない言葉だが、行政の事務改善にも既に数多く活用されている。新潟市では業務の改善実践の代表的事例を発表し、改善の方向性を共有する会合を毎年開いている。今年には多くの選手が参加する自転車イベントに無料GPSアプリを先導や後走、リタイヤ者回収車スタッフらのスマートフォンにダウンロードする改善事例が発表された。このことで参加選手の位置情報も把握することができ、大会のスムーズな運営につなげることができた。これは民間からの提案を受けて、行政など大会運営者が改善に乗り出した成果だ。

(スマホの活用も一例)

さらに新潟市人事委員会では、これまでパソコンのみ可能だった職員採用試験の電子申請をスマートフォンまで拡大したことで電子申請が増え、業務量の軽減に結び付ける事例も報告された。ITなどのテクノロジーを活用すれば業務の改善はまだまだ進む余地があり、そこに民間・大学・NPOなどの力を合わせていただければ、さらに飛躍が可能だ。シビックテックの輪を広げて、さまざまな地域課題の解決に結び付けたい。

\*:

## 2 トピック

\*:

●第11回Sea級グルメ全国大会inもんべつが開催されました。

(北海道開発局港湾計画課)

8月25日～26日、北海道紋別市の「みなとオアシスもんべつ」において、第11回 Sea 級グルメ全国大会 inもんべつが開催されました。

開催直前で台風19号と20号が発生し、気象情報では、大会当日に紋別市を直撃する進路予測が示されたことから、その開催が危ぶまれておりましたが、無事開催の運びとなりました。

8月25日(土)は小雨が混じる曇り空で、かつ、この時期としては異例の寒さ(当日の紋別市の最高気温が 17.6 度)という生憎の天気でしたが、予定通りの午前10時より、開会式が行われ、主催者である長澤 宏昭みなとオアシス全国協議会会長と、宮川 良一紋別市長が開会の挨拶を行いました。

この後、来賓である、武部 新 衆議院議員(代理 小澤秘書)と、鈴木 貴子 衆議院議員 (代理 福屋秘書)から祝辞を頂いて大会がスタートしましたが、全国から出店した18のご当地グルメに、多くの観光客が舌鼓をうちました。

翌日の8月26日(日)は、快晴とはなりませんでした。閉会式と表彰式が執り行われ、地元紋別市のホタテみそ焼きうどんがグランプリを受賞、表彰者には惜しみない拍手が注がれました。

2日間で多くの出店者が用意した食材を完売するなど、大盛況に終わりました。これを弾みとして、「みなと」を通じた地元活性化をはじめ、紋別市及びその周辺地区の今後の更なる地域の活性化が期待されるようです。



開会式



表彰式

●外国船籍クルーズ船「コスタ ネオロマンチカ」が酒田港に寄港しました。

(酒田市地域創生部商工港湾課)

8月2日(木)、「コスタ ネオロマンチカ」が酒田港に寄港しました。同船は外国船籍クルーズ船として初めて酒田港に寄港した昨年続き、2回目の寄港です。午前9時の入港に合わせて歓迎セレモニーが行われ、「酒田舞娘」や「ミスポート酒田」のお出迎え、出羽三山(でわさんざん)の山伏の法螺貝(ほらがい)吹奏などで乗船客の皆様を歓迎しました。

乗船客の皆様は、ふ頭と市街地を結ぶシャトルバスを利用した市内散策や、オプションツアーによる観光を楽しみ、県内各地は多くの人で賑わいました。

午後7時30分の出港時には、「やまがた愛の武将隊」の演武や「花笠踊り」の演舞などに加え、盛大に花火を打ち上げ、大勢の市民が次の寄港地へ向かう「コスタ ネオロマンチカ」を見送りました。

後日、乗船客の方から「酒田港の歓迎に心が温まった。ぜひまた来たい」との声もいただき、今後の寄港受入の励みとなりました。



「コスタ ネオロマンチカ」と「酒田大獅子」



乗船客と酒田市公認キャラクター  
「もしえのん」(左)・「あののん」(右)

●いしのまき港 探検ツアーを開催しました！

(石巻市建設部河川港湾課)

平成30年8月20日(月)、小学生5・6年生とその保護者を対象に「いしのまき港 探検ツアー」を開催しました。参加者は石巻港に隣接する製紙工場や荷役作業の現場、港湾関係官公庁を見学し、普段接することの少ない港に関わる仕事や役割を知っていただく良い機会となりました。

当日は製紙工場のご協力の元、紙の原料となる木材チップから紙ができるまでの製造工程を見学しました。また海上保安署では、海難事故現場での救助の様子について話を聞いたり、実際に潜水士が着用しているウェットスーツなどを見たりすることができ、子どもたちの興味を引いていました。

参加者からは「石巻港には紙を作るための原料や肥料など、いろいろな物が運ばれてきていることを知った」、「保護者として同伴したつもりが子どもと一緒に楽しんでしまった」などの意見をいただき、大変好評なイベントとなりました。



参加者と港で働く方々



防弾チョッキを試着体験

●「サマー！エコ・キッズ・スクール ～調べよう！松山近海のごみ浮遊状況～」を開催しました。

(四国地方整備局松山港湾・空港整備事務所)

サマー！エコ・キッズ・スクールとは、夏休み期間中の小学生を対象に、自然の大切さを学ぶ体験型の環境教室であり、松山市主催で毎年開催されているものです。当事務所ではその講座の1つとして、平成30年8月2日(木)に、海洋環境問題の学習会と、港湾業務艇「くるしま」に乗船して松山近海のごみパトロールを行いました。

小学生たちは、説明を聞きながら熱心にメモを取るなど、強い関心を寄せてくれているようでした。





海洋環境整備事業の学習会



「くるしま」で松山近海ごみパトロール

●「松山みなと見学会」を開催しました。

(四国地方整備局松山港湾・空港整備事務所)

平成30年8月9日(木)に、海の日イベントとして「松山みなと見学会」を開催しました。この見学会は、参加者に“みなと”が果たす役割を理解してもらうことを目的としており、会議室にて事務所の仕事紹介をした後、港湾業務艇「くるしま」に乗船して松山港と松山空港を見学してもらいました。

迫力ある港湾施設や、着陸する飛行機など、間近で見た参加者からは驚きの声が多く上がっていました。



「くるしま」で松山港見学会



「くるしま」で松山空港を見学

●クルーズ船『にっぽん丸』『ぱしふいっくびいなす』が下関港に同時寄港！！

(九州地方整備局 下関港湾事務所)

平成30年8月13日にクルーズ船『にっぽん丸』『ぱしふいっくびいなす』が関門海峡花火大会にあわせ、下関港の本港地区に同時寄港しました。

平家踊りと平家太鼓によるお出迎え。また、両船内では歓迎式典も行われ、下関市長や船長らにより花束や下関の銘菓など記念品の贈呈が行われました。

昼間は市内周辺などを観光、夜には船上から花火大会を観覧し、翌日には徳島に向けて出港しました。



平家踊りと平家太鼓でお出迎え



●MSCスプレディダが平良港・那覇港へ初寄港しました。

(沖縄総合事務局港湾計画課)

MSCクルーズ社のスタンダードクラスのクルーズ船「スプレディダ」(137, 936GT)が8月14日(火)に平良港、翌15日(水)に那覇港にそれぞれ初寄港し、両港では初寄港を歓迎し、地元観光協会などが主催してセレモニーが行われました。

平良港マリンターミナル前にて行われたセレモニーには、ホテルディレクターら4人が参加し、ミス宮古島からの花束贈呈や記念品が贈られました。また、「豊年の歌」など地元の民謡を披露し、船員らをもてなすと、返礼として同船のアコーディオン奏者による「オー・ソレ・ミオ」が披露され、会場は大いに盛り上がりました。

また、那覇港では那覇市観光協会主催によるセレモニーが船内で行われ、ミス那覇が花束を贈呈し、寄港を歓迎しました。

今回の寄港は横浜発着のチャータークルーズで日本人観光客を中心に乗客3, 899名、乗員1, 308名が乗船しており、高雄、平良、那覇、神戸などを巡り横浜へ帰港しました。



平良港沖に停泊するスプレディダ



船内にて歓迎セレモニーを開催

\*:

### 3 お知らせ(みなとのイベント情報)

\*:

#### ◇ ～酒と肴と鼠ヶ関～ 関ふぐまつり

【開催日時】 9月30日(日) 11:00～16:00

【場 所】 マリンパークねずがせき

【概 要】 ふぐの販売、地酒の試飲、酒の肴と特産品販売など。

【問合せ先】 あつみ観光協会 TEL:0235-43-3547

【U R L】 <http://www.atsumi-spa.or.jp/>

#### ◇ 17回港湾感謝祭

【開催日時】 10月14日(日)10:00～15:00

【場 所】 石巻港大手ふ頭

【概 要】 石巻港が地域経済に果たしている役割や港湾の重要性を再認識していただける市民参加型イベントです。当日は巡視船「くりこま」の一般公開や各ステージイベントのほか、港湾関連企業・官公庁のPRブースを設置します。

【問合せ先】 港湾感謝祭実行委員会事務局(石巻市建設部河川港湾室)TEL:0225-95-1111(内5607)

#### ◇ 鼠ヶ関港 とれたて!お魚市 カニまつり

【開催日時】 10月27日(土) 10:00～15:00

【場 所】 漁協念珠関支所市場内 ※弁天島・マリンパークねずがせき付近

【概 要】 100%地魚の鮮魚直売!カニ汁・カニ丼・茹でガニ・カニ握り鮓のほか、鼠ヶ関の「んめもの」(美味しい食べ物)などの販売も行います。

【問合せ先】 鼠ヶ関地域協議会「蓬莱塾」(鼠ヶ関自治会内) TEL:0235-44-2112

#### ◇ みんなの生活展2018

【開催日時】 10月20日(土) 10:00～16:00

【場 所】 松山大街道商店街1・2丁目(愛媛県松山市大街道)

【概 要】 「安全・安心に暮らせる社会」の実現を目指して、様々な団体が一堂に会し、消費生活のあり方、環境への配慮、心身の健康に関する各種啓発、相談、体験を行っており、消費者プラザ、環境プラザ、健康プラザで構成されています。

松山港湾・空港整備事務所では、港湾関係の出典として環境プラザにブースを出し、海洋環境の整備や災害への取り組みなどを紹介します。

【問合せ先】 松山市市民部市民相談課 みんなの生活展事務局 TEL:089-948-6381

